

協都計 計量記念日の集い開催

11月9日(金)、ホテルグランドヒル市ヶ谷で

東京都計量協会11月、計量強調月間の行事として、恒例の計量記念日の集いを左記により開催する。

- 【会場】同ホテル2階、芙蓉の間

【時間】15時30分～16時45分

【内容】1、開会

2、会長あいさつ

3、東京都計量検定所長あいさつ

4、東京都生活文化局長感謝状伝達

5、東京都計量協会会長
- 表彰

6、受賞者謝辞

7、東京都計量管理研究会「計量強調月間標語」作品表彰

2、懇親会

【会場】同ホテル3階、瑠璃東の間

【時間】17時開場予定

計量管理強調月間標語の発表 最優秀作品は標語短冊に

概要

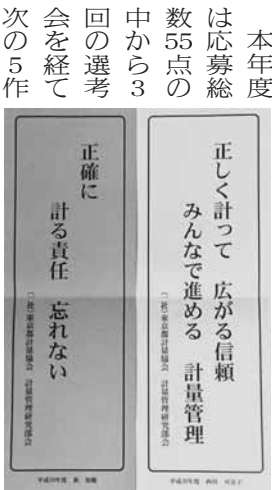
【日時】2018(平成30)年11月9日(金)、15時30分から(受付開始15時)

【会場】ホテルグランドヒル市ヶ谷(新宿区市谷本村町4-1、電話03-3268-0116)

1、記念式典

都計協計量管理研究部では、11月計量管理強調月間に向けて部会メンバー事業所から標語を募集していた。このほど各賞が確定した。

本年度は応募総数55点の中から3回の選考を経て次の5作



品が選ばれた。

■最優秀作品(2点)

「正しく計って 広がる信頼 みんなで進める 計量管理」(森永乳業大和工場充填西川可奈子さん)

「信頼と安心届ける 正しい計量」(中外製薬工業浮間工場製造第2グループ松本博美さん作)

「品質と信頼を生み出す 計量管理 未来に繋がる 第一歩」(中外製薬工業浮間工場製造第1グループ栗原健さん作)

最優秀作品2点は、標語短冊として印刷され、都計協の会員事業所に配布されている。

夏のイベントを開催

親子はかり教室、計量展示室の特別展示

東京都計量検定所では、「夏のイベント」として、都内在住の小学生とその保護者を対象とした「親子はかり教室」(施設見学と棒はかりの工作)および「計量展示室の特別展示」を実施し、計量制度の普及に取り組んだ。

(1)親子はかり教室

8月7日(火)から9日(木)の3日間、計量検定所にて開催し、延べ47組102名(うち児童55名)が参加した。

施設見学では、環境計量器検査室・質量計検定室・体積基準器検査室・計量展示室の4カ所を見学した。

各施設では、騒音計を使っての「大声コンテスト」、電子天びんを用いた「お金の計量体験」、燃料油メーター実習機を使った「目指せ!給油マス



大声コンテスト



棒はかり工作



計量展示室

<http://www.tokeikyo.or.jp/>

ター」やクイズ、展示品から写真と同じ計量器を見つけて「はかり探しゲーム」や「計量感覚ゲーム」で計量体験をしてもらった。

棒はかりの工作では、0gや100gの基準を決める際には慎重な調整が必要など、作業によって低学年の児童にとっては難しい部分もあったが、説明に沿って保護者と職員がサポートした「目指せ!給油マス

「体験しながら学んだので楽しかったし、よくわかった」「計量検定所ってこんな大事なことをしてるなんてビックリした」「工作した

「体験しながら学んだので楽しかったし、よくわかった」「計量検定所ってこんな大事なことをしてるなんてビックリした」「工作した

今年江が東京に改称されて150年のため、それにちなんだ展示をおこなった。

公開期間中は年配の方、家族連れ、学生など幅広い世代の方々に来場してもらい、「子供のころに使っていた計量器があつて懐かしかった」「カ

計量管理強調月間の事業について

東京都計量検定所では11月を計量管理強調月間としている。

(1)計量管理強調運動

都内の適正計量管理事業所および大規模小売店の計量管理担当部署等に

のさらなる取り組みを実施するよう依頼する。後日、取り組み事業者には実施結果の報告をお願いしている。

(2)正量取引強調運動

都内の各区市町村商店街連合会等に、正量取引強調運動への参加を依頼し、適正な計量販売の推進を図る。

所定 計量記念日事業のお知らせ 都民計量のひろばと計量展示室特別展示

◇都民計量のひろば

【メインテーマ】くらしと計量

【サブテーマ】東京150年 未来へつなごう!

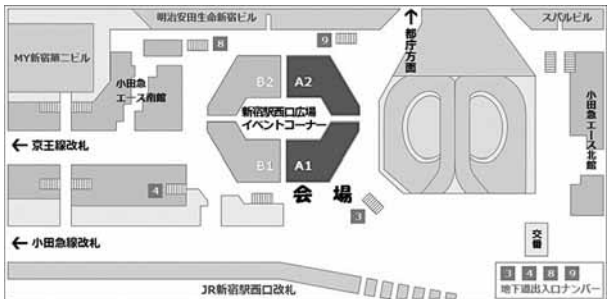
東京の正しい計量

【開催日時】11月1日(木) 10時30分～16時まで

【場所】新宿駅西口地下「新宿駅西口広場イベント

トコーナー」A1・B1

【開催概要】計量記念日(11月1日)に、「くらしと計量」をテーマに、さまざまな展示やアトラクション等を通し、都民の方々と楽しみながら計量制度の普及啓発を図ることを目的に、以下のコーナーを設け実施する。加



会場案内図

本硝子計量器 工業協同組合、日本計量振興協会、日本穀物検定協会関東支部、日本電気計器検定所、松屋、東京都計量協会、東京都計量検定所(以上18団体)

◇計量展示室特別展示

【概要】東京都計量検定所の複製品による計量単位に関する詳しい説明をは

日本計量新報読者に限り
計量計測データバンクを無料開放
<http://www.keiryoku-keisoku.co.jp/>

計量計測関連情報を集約、今すぐアクセス!

お問い合わせ先 株式会社 日本計量新報社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル4F
TEL03-3295-7871 FAX03-3295-7874 E-mail=mail@keiryoku-keisoku.co.jp

計量器のデパート

AND

新センサーSHSを搭載
分銅内蔵
電子天秤GXシリーズ
ご用命は

SATO

温度・湿度のデータを記憶
データロガー 記憶計
SK-L200THIIa

SATO

簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定!
塩分濃度計SK-5S

株式会社 三友産業社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話 03-3241-1824・7016
FAX 03-3241-3036

「11月1日は計量記念日」 スケールバンドを配布します

東京都計量協会は、11月1日の計量記念日の周知のために、11月1日は計量記念日(1952(昭和27)年に制定。1993(平成5)年の新計量法)の施行にともない、それまでの6月7日から11月1日に変更された。計量思想の向上・普及に関する行事および計量関係者の表彰が、おこなわれる。

■配布目的
「11月1日は計量記念日」を告知することにより、計量への関心を持つてもらう。
■配布予定
(1)東京都千代田区麹町1丁目2、千鳥ヶ淵公園入口にて、10月26日17時30分～18時30分(雨天の場合、10月31日同時刻に変更)
(2)新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催される「都民計量のひろば」にて、体重、血圧、骨強度の測定をおこなう。ただいた人々に配布。開催日時：11月1日、10時30分～16時
(3)配布するスケールバンドのイメージ図(左図)



配布するスケールバンドのイメージ



部会・団体
だより
日本硝子計量器工業協同組合
8月17日(金)関東ブロック代表者会議出席。
9月16日(木)理事会開催。7月理事会議事録

の確認、月次会計報告、都計協会長表彰について、都民計量のひろばについて。▽7日(金)都計協、運営委員会出席。
(8)面へつづく

日本計量新報
注目企業のインタビュー記事や、展示会情報がわかる

シリーズ 計量と適合性評価 (8) 奈良広一

適合性評価と標準化 (1)

前回は、LED電球の省エネラベリング制度を紹介したが、そこでLED電球の省エネ特性を決定する試験方法としてJIS(日本工業規格、ただし下記でも述べるようにそのうちに名称が変わる。)が使われていることを述べた。適合性評価と標準は車の両輪といわれ、密接に関連している。本題に戻って、この連載ではこれから2、3回をかけて適合性と標準化がどのように関連するかを述べていくことにする。今回は適合性評価の立場から標準化の意義などを中心に簡単に紹介したい。また、規格と標準はこの連載では特に区別しない。また標準化によって制定される取り決めのことを「規格(標準)」と呼ぶ。

よつと、さまざまな観点からの購入基準を持ち、製品などの基準への適合性を評価するであろう。この図にあるように、供給者も購入側も複数である場合を考えると、購入基準は購入側毎に異なるかもしれない。もしも購入基準のうち、試験方法が納入先毎にバラバラだったら、供給者は納入先毎に試験方法を覚えねばならず、試験設備、試験、試験方法などの管理が大変だろう。ここで、関係者間で「試験方法の標準化」がなされ、

購入側が揃ってそれを採用するようにすれば、供給者にとって試験の効率も上がるだろう。その結果試験コストの低減を通じて購入側にもメリットが出るかもしれない。また、ボンチ絵で示した衣料品の例では現実的ではないが、供給品が工業部品であって、対応する標準があり、そこに該当する工業部品の合格基準などが詳しく書いてある場合なら、購入者はその標準をそっくり購入基準に取り込めるかもしれない。そうすれば、購入する側からすれば、一定の水準が保証され、互換性を確保でき、調達先の選択が広がることにより購入コストを下げられるかもしれない。一方、製品(部品)を納入する立場としても、その標準に合えば必ず購入先があるわけでは、在庫リスクを減らせるかもしれない。

また、個々の製品の合格・不合格に加えて、「工場の管理基準」といった購入基準に対する適合性の評価として、供給側の製造管理体制が継続的に満足できる製品を供給できるものかを購入側(第二者)として監査すること多いであろう。この場合nの供給者とmの購入者が存在すれば、第二者監査がn×m回継続的に発生することになる。双方の負担は大変なものであろうし、その監査内容にはオーバーラップもあるだろうから無駄も発生するに違いない。この解決策の一例に関して、この連載の中で改めて取り上げることになる。

標準あるいは標準化に関しては、JISC(日本工業標準調査会)のホームページなどではJISAのホームページなどで充実した情報を得ることができる。図2が標準化のメリットと適合性評価活動の例を与えた。



図1 衣料品の複数の供給者と複数の購入者

図2 標準化の役割とさまざまな適合性評価活動。標準化の役割(メリット)として、互換性の確保、品質の確保、生産効率の向上、相互理解の促進、技術普及、安心・安全の確保、環境保護が挙げられている。また、適合性評価活動の例として、試験・校正、検査が示されている。

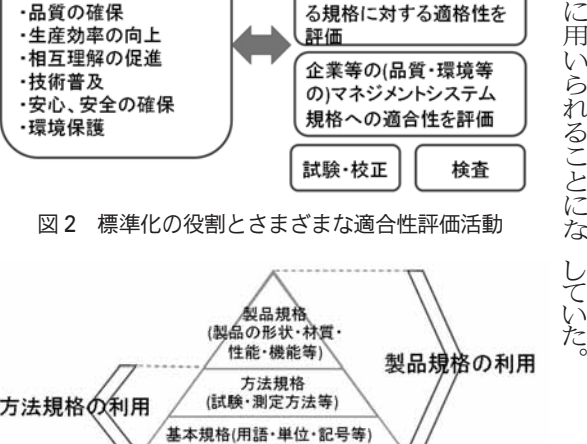


図3 内容による規格の分類と適合性評価からの利用

規格(標準)とは規定要求事項が文書化されたものであることから両者の密接な関係がここからも見て取れる。さらに近年、標準化および適合性評価を応用したアプローチに

ワーク衡業
株式会社 ころ ぎょう
東京都江戸川区鹿骨 1-6-8
TEL 03-3679-0086
FAX 03-3677-5703
フリーダイヤル: ワーク キューキュー 0120-809-994

ハカリは共栄
(寺岡)デジコンポ特約店
各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理
[全国計量器販売事業者連合会・会員]
[認定計量器コンサルタント有資格者の店]
共栄衡器製
東京都足立区千住河原町45-6
TEL 03(3882) 8101 (代)
FAX 03(3882) 8172
E-mail: sales@kyoei-koki.com
URL: http://www.kyoei-koki.com
保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.
各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム
Sentek Sensor Technologies
プロファイル土壌水分センサー各種
日本総代理店
おかげさまで創立 80 周年を迎えました。
太陽計器株式会社
http://www.taiyokeiki.co.jp
営業本部 〒114-0032 東京都北区中十条 1-12-3
電話 03-5963-5361 FAX 03-5963-5362

